



学校便り

<本気・元気・根気>

令和5年5月12日

第 3 号

あきる野市立西中学校
文責 校長 曾我 有二

◇ 令和5年度 西中学校 学校評価について ◇

本年度の本校の学校評価計画を以下のように設定させていただきました。学校評価とは、1年間本校が、あきる野市教育委員会の施策を受けて、特に力を入れて取り組む活動を教育委員会に報告し保護者の方々や学校関係者評価委員の方々からこの取組みの評価をいただくものです。保護者の皆様には、各項目について年末に学校アンケートという形でご意見を伺う予定です。本年度も宜しくお願ひします。

重点的に進める目標	学校評価計画		
	中学校区共通の目標に○印	評価項目	
確かな学力の育成	○	評価項目① 取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 授業でのねらい、見通し、振り返りは100%実施する。 授業でタブレットを用いる機会を増やし、家庭学習でも使用できるようにしていく。 学区内小学校と一貫した教育を実施し、出前授業も実施する。
		取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートで「分かる授業」の肯定的回答を80%以上にする。 教諭に、昨年よりタブレット使用の授業が増えたという回答を100%にする。
	○	評価項目② 取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中やテスト前に補習学習を行い、国語、英語は課題を出し、休み明けにテストを実施する。8割正解するまで再テストを行う。 漢検、英検の受験会場を本校として、受験を勧める。
		取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 3年生で3級取得者をのべ50%以上を目指す。 全国、都の調査で、昨年度以上の正答率を目指す。
いじめの防止と多様な相談体制の充実	○	評価項目① 取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 毎月「いじめについて考える日」を実施し、講話、生徒会活動、標語募集・掲示等様々な方法でいじめゼロを目指す。 学期毎に生徒アンケートと面接の実施。毎週の校内委員会で情報を共有する。
		取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> いじめゼロといじめによる不登校ゼロを目指す。
特別支援教育の推進	○	評価項目① 取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教育活動において、特別支援教育（全員支援教育）の視点に立って取り組む。 教室環境・授業のUD化を実践する。
		取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育を活かした教室環境・授業実践（ねらい、見通し、振り返り）の実践率を90%以上にする。
	○	評価項目② 取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 6組との交流学習や6組の生徒のインクルーシブ教育(3人以上)を実践する。あきる野学園との交流をできる範囲で行う。 SCも含め、教育相談を充実し、生徒が「毎日登校したい」学校づくりを進める。
		取組目標 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「学校へ毎日行きたい」「行かせたい」という生徒と保護者の肯定的回答率を80%以上を目指す。 生徒の「障がい」の理解を90%以上にする。

健やかな体の育成	評価項目①	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育の授業に留まらず本校の学校生活全般で、生徒が自主的に体力を向上する取り組みを実践する。 うがい・手洗い、手指消毒、換気、三密を避けることは継続する。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら体力が身に付けられた」と感じる生徒を80%以上にする。 「体力向上が役だった」と感じる生徒を85%以上にする。
	評価項目②	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 今までのオリパラについて、各教科でふれ、レガシー教育やボランティアマインドについて学ぶ。パラリンピアンを講師として招聘し、感動を得る。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピアン講演後の生徒アンケートで「感動した」という回答率を80%以上にする。
豊かな心の育成	評価項目①	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会目標を、各学年・学級・委員会活動に浸透させると共に、生徒規律を高める指導を実施する。 あいさつ運動を実施する。 生徒・保護者から標語を集め、学校や地域に掲示する。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの「自ら決まりを守ることができている」「あいさつがしっかりできている」の項目で肯定的な回答率が80%以上を目指す。
	評価項目②	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全般や特に特別の教科道徳や総合的な学習の時間で、「思いやる心」＝「恕」を育てる。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「思いやる心・互いに認め合う気持ちを意識し学校生活を送っている」とアンケートで答える生徒を90%以上にする。
教員の資質・能力の向上	評価項目①	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員に、授業のUD化、あきる野市授業スタンダードを意識させ、研究（公開）授業を年一回以上行わせる。 デジタル教材を用い、授業でのタブレット使用頻度を増やし、ICT教育を実施していく。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートで「授業がわかる」や「授業での活動の場がある」という肯定的な回答率を平均で80%以上を目指す。
	評価項目②	取組目標	<ul style="list-style-type: none"> OJT体制を確立し、若手教員の育成と全教職員の資質・能力の向上を目指す。 ICT教育の授業公開を互いに行い、教諭個々のスキルアップを図る。 サービス事故防止研修を行い、サービス事故防止を徹底していく。
		成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価で「研修に対する取り組み」の肯定的意見を80%以上とする。 サービス事故の発生をゼロとする。

～母の日に思うこと（5月14日は、母の日）～

突然ですが、以下の文章を紹介します。＜『言葉の力』感動のペップトークより＞



高校生の息子のために 弁当を作り続けて3年がたった。共働きで毎朝5時に起きて仕事に出かける前に弁当を作る生活。早起きが苦手な私には正直辛かった。息子は一人っ子のせいか口数が少ない。いつも弁当の感想を聞いても何も言わない。美味しいのかな。美味しくないのかな。「作っているこっちの気持ちにもなってよ」と言いたかったが、言えないままで卒業を迎えた。

今日は最後の弁当の日。もう作らなくていいと思うと少し気持ちが楽になった。最後に感想ぐらい聞かせてほしい気もする。でもやっぱり言葉なく弁当箱が、テーブルの上にポンと置かれていた。「私の3年間って何だったんだろう・・・」ちょっと寂しく思った。「あ～、これで弁当を作るのも終わったわ。」何だか肩の荷が下りたような。寂しいような気分。

「あれ」弁当箱を開けてみると1枚のメモが「母さん 3年間弁当を作ってくれて本当にありがとう。卵焼き美味しかったよ。」汚い字でそう書かれていた。「バカじゃないの、なに今頃言ってるのよ。もっと早く言ってくれたらもっともっと頑張ってたのに・・・」その言葉で私の3年間が報われた気がした。最高のペップトークだった。あなたは、大切な人に、どんな言葉を贈りますか。

5月14日は、「母の日」です。お母さんに感謝の言葉を。6月18日は、「父の日」です。お父さんへ感謝の言葉を。あとは、毎日元気で中学校生活を送っている姿をご両親に見せてください。それが一番の贈り物です。